

# 第28回 田善顕彰版画展

## 《田善賞 小学生の部》



《講評》初めての木版画の表現だと思われるが、彫刻刀の使い方が慣れた感じであざやかである。「笑顔の友達」というタイトルも思いのこもった題で、心のこもった感じがする。それだけに顔の表情もよく、体の動きもつまく表現されている。画面全体の白黒のバランスがよく力強い作品である。

### 「笑顔の友達」

須賀川市立第三小学校 4年 柏原 光汰

## 《田善賞 中学生の部》



《講評》作者の持っている気持ちを、ドライポイントによる表現によって素直に表現できたのではないかと思います。限られた机上のスペースに置かれた筆記用具を、上手に組み立て細部に亘って捉えた表現力は最高の出来であり秀れた作品といえます。

### 「まんが家」

須賀川市立仁井田中学校 2年 佐藤 由美

# 第28回 田善顕彰版画展

## 《最優秀賞 小学生の部》



《講評》「くるみを食べるリス」長沼小学校らしいタイトルである。自然をよく観察し、興味深いリスのようすを絵にしたところがよい。大木を自由に歩きまわって、木の上でくるみを食べている様子がよくとらえられている。一版多色刷りで表現したのが成功のもとだったのかも知れない。

須賀川市立長沼小学校 6年  
名古屋 慧

## 《最優秀賞 小学生の部》



《講評》紙版画による力強い作品である。タイヤとびをしているところの様子が、大変たくみに表現されている。口をグッと結んで大きく目を見開き、タイヤにグッと手をかけてタイヤとびのふんばっているところがよくとらえられている。

須賀川市立柏城小学校 2年  
伊藤 蒼史

## 《最優秀賞 中学生の部》



《講評》日常の中のさりげない風景を多色刷り木版画で表現した作品。自然な感じが良く出ているいっぽう、安定感のある構図や色彩のバランスなど、完成度の高い作品になっています。

須賀川市立岩瀬中学校 2年  
舟橋 啄也

## 《最優秀賞 中学生の部》



《講評》力強い迫力のあるドライポイントの手法に依る表現です。縦と横の構成によってしっかりと組み立てられた、しかも遠近感も持ち合わせた素晴らしい作品となっています。

須賀川市立大東中学校 2年  
関根 有沙

# 第28回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》カラスは黒いと決め付けていました。咲弥さんが描かれたようなカラスがいたらスゴイネ。貴方の発想力に驚きました。素晴らしい作品です。

須賀川市立西袋第一小学校 4年  
半澤 咲弥

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》瑠捺さんの「幸せたなあ」の作品を見てると、私も幸せになってしまいました。貴方のやさしさが伝ってくる好作品です。

須賀川市立第三小学校 4年  
坂田 瑠捺

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》うですもうをしているのは結心君かな。楽しい学校生活を過ごしているのが、貴方の作品から感じられます。好作品です。

須賀川市立第二小学校 4年  
深谷 結心

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》ピッコロフォンを演奏する姿がとても丁寧に描かれています。とくにハチを持つ手が上手く表現されています。画面全体の白と黒のバランスもきれいです。

須賀川市立柏城小学校 4年  
森田 陽茉理

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》自分の顔と鬼の顔を重ねて画面いっぱいこのびのびと描き、楽しい絵になりました。

須賀川市立第三小学校 2年  
小林 花奈美

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》真央さんは今年卒業ですね。6年間学んだ小学校をこのように素晴らしい作品として残せたのは、真央さんがきっと充実した小学校生活を過ごせたからだと思います。貴方の宝物としてください。

須賀川市立仁井田小学校 6年  
鈴木 真央

# 第28回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》羽を広げてはばたくみみずくを指さす自分を描いた作品。みみずくの顔と羽の描きかたがとても上手です。みみずくを見つけてよこごぶ笑顔もよいですね。

須賀川市立阿武隈小学校 2年  
渡辺 瑠菜

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》顕微鏡観察の経験を、細かいところにはこだわらずにのびのびと描いた即興的な表現が魅力的です。左腕の衣服の袖や顔の表情にも工夫がこらされています。

須賀川市立西袋第一小学校 5年  
車田 ダイクス

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》自分の持っている夢をテーマに選んで人物表現をうまく表しています。画面に大きく、力強く落ちついた色調で注意深く彫り進んだ版画です。ばらしい作品となっています。

須賀川市立小塩江小学校 6年  
滝田 和佳

## 《優秀賞 小学生の部》



《講評》ほおづえをついて遠くを見ながら何かを考えているような自分の姿を描いた木版画作品。表情の描きかたがすばらしく、また題名も良いです。

須賀川市立仁井田小学校 4年  
星 凜佳

# 第28回 田善顕彰版画展

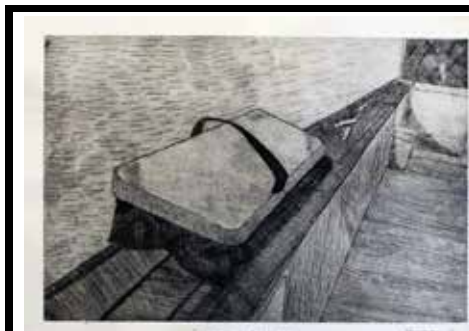
## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》人物のデッサンがとても正確に描けています。全体に柔らかな絵肌も魅力的です。

須賀川市立第一中学校 1年  
芳賀 楓

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》作者の学校での日常生活の中で、いつも身近にある（身近すぎて見落としてしまいがちな）ものを取り上げ、題名にもある通り感謝の心を込めながら丁寧に描いており、とても好感のもてる作品になっています。遠近感を強調した対角線の構図も良く考えられています。

須賀川市立大東中学校 3年  
三村 妃乃

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》モノクロームの多色版画が立派に出来上がりましたね。表現しようとしているねらいを端的に表現した素晴らしい作品と言えます。人物や窓から入る光のとりえ方、周囲の省略などとても巧みな作品となっています。人物の表情もよく表現されていると思います。

須賀川市立西袋中学校 1年  
横山 葵

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》牡丹の花びらのやわらかさが、実によく表現されています。木乃香さんはやさしい人なのでしょうね。作品を見てそのように思いました。

須賀川市立西袋中学校 2年  
新井 木乃香

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》中間のトーンを排した白と黒のコントラストによる明暗表現が魅力的です。人体のデッサンも正確で、とくに顔の表現が素晴らしいです。

須賀川市立第一中学校 1年  
井口 元秀

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》学校の教室の、外へとつながる扉の丸い窓を通して見える校庭の風景を多色刷り木版画で表現した作品。まるで壁にかけられた丸い形の絵画のように見せるアイデアや、扉とカーテン、そして風景の配色のバランスが素晴らしいです。

須賀川市立小塩江中学校 1年  
吉田 佳穂

# 第28回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》「憂鬱」というタイトルですが、優羽さんが自分の心の奥を見つめ、しっかりと生きようとしている姿が、貴方の作品から感じられます。

須賀川市立西袋中学校 1年  
箭内 優羽

## 《優秀賞 中学生の部》



《講評》猫の毛の質感が上手く描けています。支える腕に伝わってくる猫の体温や体重まで表現できています。

須賀川市立仁井田中学校 2年  
根本 夕梨夏